

# 日本舌側矯正歯科学会誌 記載の原則

日本舌側矯正歯科学会 編集・査読委員会

1. 「第1, 第一」「2次, 二次」などはアラビア数字, 漢数字のどちらを用いても差し支えありませんが, 横書きの抄録ですので数字は算用数字で統一することが原則です. ただし, 歯種を示す場合(第一小白歯, 第二大白歯など)は漢数字を用いてください.
2. 文中でカタカナ表記と英語表記が混在する場合は, どちらかに統一してください. (例) ヘッドギアと headgear
3. 人名, 固有名詞, 文頭の頭文字は大文字を用いてください (Angle, Begg, Spee, 等). それ以外の英語は文頭のみ頭文字を大文字で用い, それ以外は小文字を用いてください.
4. 凡ゆる, 或いは, 如何に, 概ね, 凡そ, 及ぶ, 且つ, 即ち, 是非, 夫々, 其の, 為, 因みに, 何処, 図る, 殆ど, 先ず, 稀に, 勿論, 以って, 故になどの用語はひらがなで統一してください.
5. 学術名で認知されている材料は原則として学術名で表記し, 商品名は用いないでください.  
(誤) TMAワイヤー (正) Ti-Moまたは $\beta$ -Ti合金ワイヤー  
(誤) ゴムメタルワイヤー (正) Ti-Nb合金ワイヤー  
ただし商品名でなければその特徴が表現できないものはその限りではありません(ブラケットの名称等).  
製品の比較等の研究等で商品名で表記せざるを得ない場合は, 必ず利益相反(COI)について言及を行ってください.
6. 英語省略表記の場合, ドットを付けてください.  
(Arch length discrepancy → A.L.D. Stainless steel → S.S. Lingual arch → L.A. SD → S.D.)  
学術的文章ですので, 未定義もしくは学術用語ではない略語(著者や流派の造語など学術用語集に載っていないもの)が使われていないか確認してください. また, 初出の時はspell outして下さい.  
ただし慣例の略語はその限りではありません(ANB, FMA, MFT, TPA, TMJ, TMD等).
7. Overjet, overbite, arch length discrepancyは+および-の符号を付けて記載してください.  
ANB, E-lineは, マイナスの場合のみ符号を付けて記載してください.
8. 「左右側」は「両側」と表記してください. (誤) 上下左右第三大白歯 (正) 上下顎両側第三大白歯  
ただし左右対称性を表現する場合は可. (正) 左右対称
9. 上顎および下顎の顎骨または歯を表す場合は「顎」を表記してください.  
(誤) 上下右側, 右上 (正) 上下顎右側, 上顎右側
10. 抜歯は基本的に抜去と表記してください.  
(誤) 上顎右側4番を抜歯, 4抜歯 (正) 第一小白歯抜去, 上顎右側4番を抜去, 連続抜去法  
ただし慣用語として用いられている場合はその限りではありません. (例外) 抜歯部位, 抜歯基準, 等
11. 症例報告の場合, 治療方針のみ現在形で表記し, それ以外の緒言, 所見, 考察等はすべて過去形で表記してください.
12. 使用する学術用語は, 日本舌側矯正歯科学会学術用語例表, ならびに歯科矯正学専門用語集(日本矯正歯科学会編)や日本歯科医学会学術用語集 第2版(日本歯科医学会編)を参考にしてください. また, 顎変形症と顎関節症に関しての用語は, 顎変形症学会と顎関節学会が用語統一を行い, 各学会雑誌に掲載されていますので, ご参照ください.